

お台場旧防波堤（鳥の島2島）における鳥類のモニタリング調査 夏季調査（7月）報告書

平成 29 年 8 月 一般社団法人お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

お台場海浜公園内堤防（通称鳥の島）2島及び周辺水域（周辺 50m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
平成 29 年 7 月 10 日（月）	8 : 00 ~ 14 : 00	晴

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8 ~ 10 倍程度の双眼鏡や倍率 20 ~ 60 倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2） ~ （4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2島に調査員を1名ずつ配置し、2島同時に実施した。

（1）船上センサス

鳥の島の2島の50m程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

（2）ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1 ~ 2 km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に1本を設定し、観察範囲は片側 50m（両側 100m）とした。

(3) 定点観察調査

2島の各2点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は50m程度、調査時間は各30分間とした。

(4) 任意観察調査

鳥の島の2島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認した鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。



写真 1 各調査手法における調査風景

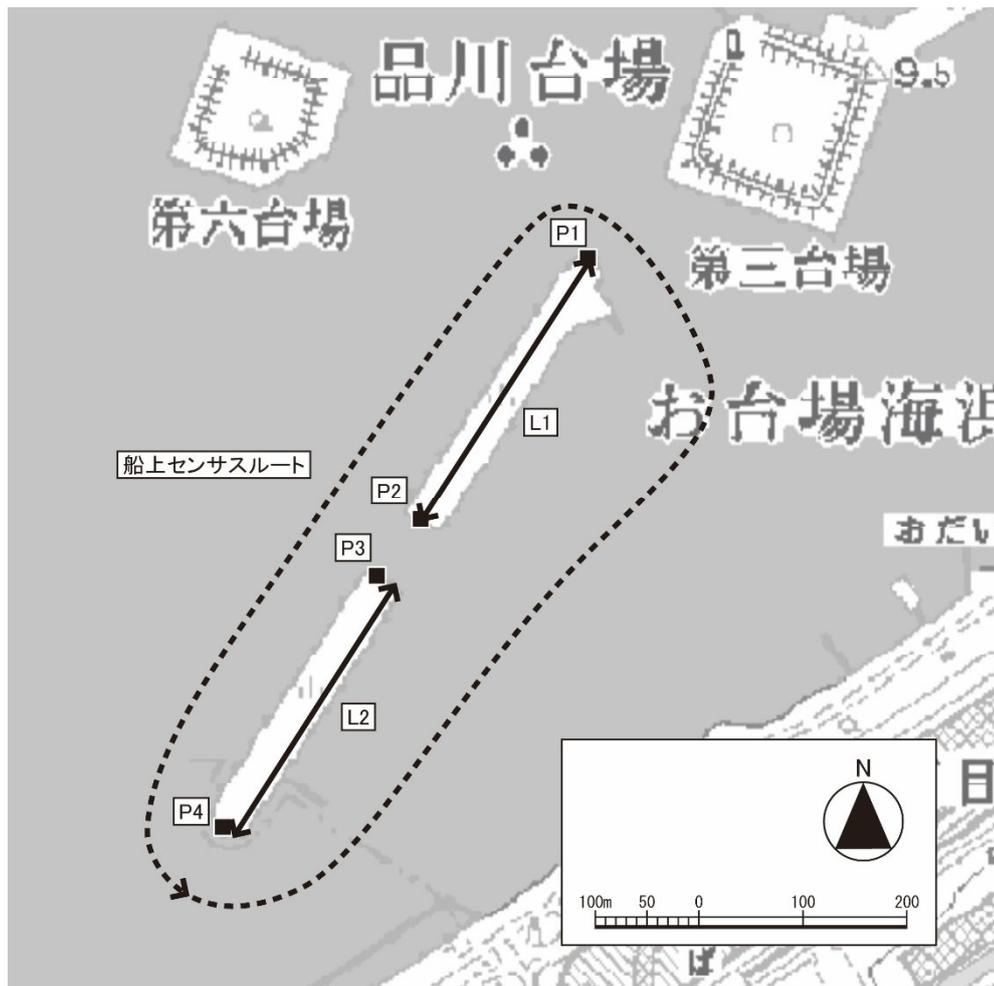


図 1 調査地点図

5. 調査結果

(1) 現地調査結果

- 現地調査の結果、7目15科18種の鳥類を確認した(表2)。
- 確認種の多くは水域やその周辺に生息する鳥類であり、カワウやアオサギ、イソシギ、ウミネコ、ハクセキレイなど9種を確認した。また、島内には小規模な樹林環境や草地環境が見られ、シジュウカラやカワラヒワなどの森林やその周辺に生息する種を3種確認した。そのほか、猛禽類であるトビ、都市部に普通に生息するキジバトやハシブトガラス、スズメなども確認した。
- 確認種のほとんどは、カルガモやカワウ、アオサギなどの留鳥(ある地域で一年中見られる種)が占めたが、ツバメやコチドリといった夏鳥(ある地域で夏に見られる種)も確認した。
- 確認個体数が最も多かった種はカワウであった(表3～5)。船上センサスにおいて、カワウは2島で合計212個体を記録した(表3)。両島において巣上の雛、幼鳥を確

認した。繁殖中のつがいは両島合計で3つがいのみであったことから、ほとんどのつがいは本年の繁殖を終えたと考えられた。

- 重要種は、ダイサギ、コサギ、コチドリ、イソシギ、トビの合計5種を確認した（表2）。ダイサギ及びコサギは第六台場で繁殖しており、第六台場を往来する際に島の島周辺海域を飛翔する個体や、島内で採食や休息する個体を確認した。コチドリとイソシギは護岸や干潟等で採食や飛翔する個体を確認し、島の上空ではトビを確認した。
- コサギ、アオサギ、シジュウカラ、スズメ、カワラヒワの幼鳥を確認した。コサギとアオサギについては、繁殖地である第六台場より巣立った個体が、本島を採食地や休息地として利用していると考えられた。シジュウカラ、スズメ、カワラヒワについては、既往調査結果で島内での繁殖を示唆する行動の確認がないことから、周辺地域で巣立った個体が採食地として利用していると考えられた。

(2) 前回調査との比較

- 平成27年の夏季（6月）～平成28年春季（4月）までの調査を第1回、平成28年秋季（10月）以降の調査を第2回とし、第1回と第2回の夏季調査の結果を比較したところ、第1回では島の北側（以下、北側）で14種、島の南側（以下、南側）で18種、合計19種、第2回では北側で15種、南側で17種、合計17種であった（表6）。第1回の確認種のうち、約7割（13種）は第2回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 第2回で新たに確認した種は、オナガ1種であった（表6）。本種は比較的森林性の強い種であることから、島内の樹林環境の成長に伴って記録された可能性がある。
- 外来種は第1回ではドバトを確認したが、第2回では確認されていない。
- 種数及び個体数の変化について、調査手法別に比較を行った（表7～9）。その結果、種数に大きな変化は見られなかったが、カワウについてはラインセンサス・定点観察において第1回より減少が見られた。第1回は6月に実施しており、カワウの育雛期であることから、島内に多数のつがい及び雛がいたと考えられた。第2回は7月に実施しており、既に多くのつがいが繁殖を終えて島周辺の海域等に移動したことにより、島内の個体数が減少し、このような変化が生じたと考えられた。

表 2 鳥類確認種目録

No.	目名	科名	種名	調査月		重要種選定基準			
				夏季(7月)		①	②	③	④
				北側	南側				
1	カモ	カモ	カルガモ		○				
2	ハト	ハト	キジバト		○				
3	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○				
4	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○				
5			ダイサギ	○	○				VU
6			コサギ	○	○				VU
7	チドリ	チドリ	コチドリ		○				VU
8		シギ	イソシギ	○	○				VU
9		カモメ	ウミネコ	○	○				
10	タカ	タカ	トビ	○	○				NT
11	スズメ	カラス	オナガ	○	○				
12			ハシブトガラス	○	○				
13		シジュウカラ	シジュウカラ	○	○				
14		ツバメ	ツバメ	○	○				
15		ムクドリ	ムクドリ	○	○				
16		スズメ	スズメ	○	○				
17		セキレイ	ハクセキレイ	○					
18		アトリ	カワラヒワ	○	○				
合計	7 目	15 科	18 種	15 種	17 種	0 種	0 種	0 種	5 種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

①文化財保護法(昭和 25 年、法律第 214 号)

天:天然記念物 特:特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号;平成 23 年改訂)

内:国内希少野生動物 際:国際希少野生動物

③「環境省レッドリスト 2017」(平成 29 年、環境省)における掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧種 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京 2013～東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)～」(平成 25 年、東京都)における区部の掲載種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 留:留意種

表 3 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査月		合計 個体数
				夏季(7月)		
				北側	南側	
1	カモ	カモ	カルガモ	0	4	4
2	カツオドリ	ウ	カワウ	78	134	212
3	ペリカン	サギ	アオサギ	9	8	17
4			コサギ	9	0	9
5	スズメ	カラス	ハシブトガラス	0	2	2
6		シジュウカラ	シジュウカラ	2	1	3
7		スズメ	スズメ	1	0	1
合計	4目	6科	7種			

注1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査月				合計 個体数
				7月(夏季)				
				L1		L2		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カツオドリ	ウ	カワウ	27	68%	16	64%	43
2	タカ	タカ	トビ	0	0%	1	4%	1
3	スズメ	カラス	ハシブトガラス	0	0%	1	4%	1
4		シジュウカラ	シジュウカラ	0	0%	1	4%	1
5		ツバメ	ツバメ	1	3%	0	0%	1
6		ムクドリ	ムクドリ	0	0%	3	12%	3
7		スズメ	スズメ	5	13%	3	12%	8
8		アトリ	カワラヒワ	7	18%	0	0%	7
合計	3目	8科	8種	40	100%	25	100%	65
				4種		6種		8種

注1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5 定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				夏季(7月)				
				P1	P2	P3	P4	
1	ハト	ハト	キジバト	0	0	1	0	1
2	カツオドリ	ウ	カワウ	3	3	7	25	38
3	ペリカン	サギ	アオサギ	1	1	0	2	4
4			コサギ	1	0	0	0	1
5	チドリ	チドリ	コチドリ	0	0	0	1	1
6		シギ	イソシギ	0	0	0	1	1
7		カモメ	ウミネコ	1	0	0	0	1
8	スズメ	カラス	オナガ	0	2	2	0	4
9			ハシブトガラス	0	0	1	0	1
10		ツバメ	ツバメ	0	0	0	2	2
11		スズメ	スズメ	4	1	4	5	14
12		セキレイ	ハクセキレイ	1	0	0	0	1
13		アトリ	カワラヒワ	8	0	2	0	10
合計	5目	11科	13種	19	7	17	36	79

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 (1) 鳥類確認種目録 (全調査回)

No.	種名	調査時期																	
		第 1 回 (H27-28)										第 2 回 (H28-29)							
		夏季		秋季		冬季		春季		全季		秋季		冬季		春季		夏季	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側
1	オカヨシガモ																	○	
2	マガモ								○		○		○	○	○				
3	カルガモ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○
4	オナガガモ												○						
5	スズガモ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
6	ウミアイサ						○				○								
7	カンムリカイツブリ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
8	ミミカイツブリ													○					
9	ハジロカイツブリ					○	○			○	○			○	○				
10	キジバト				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
11	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	ササゴイ				○						○								
13	アオサギ	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○		○	○	○	○
14	ダイサギ	○	○	○	○			○	○	○	○					○		○	○
15	コサギ	○	○		○				○	○	○	○	○			○	○	○	○
16	オオバン					○			○	○	○	○			○	○		○	
17	コチドリ							○	○	○	○	○							○
18	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	ユリカモメ					○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
20	ウミネコ	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
21	カモメ							○	○	○	○								
22	セグロカモメ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
23	オオセグロカモメ		○	○	○	○	○		○	○	○			○	○				
24	コアジサシ	○	○							○	○					○	○		
25	ミサゴ					○				○		○							
26	ハチクマ			○						○									
27	トビ			○	○				○	○	○		○	○	○			○	○
28	ハイタカ								○		○				○				
29	オオタカ					○				○		○	○						
30	ノスリ						○				○			○	○				

表 6 (2) 鳥類確認種目録 (全調査回)

No.	種名	調査時期																	
		第 1 回 (H27-28)										第 2 回 (H28-29)							
		夏季		秋季		冬季		春季		全季		秋季		冬季		春季		夏季	
		北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側	北側	南側
31	カワセミ													○					
32	チョウゲンボウ				○				○		○								
33	ハヤブサ											○			○				
34	モズ											○			○				
35	カケス											○							
36	オナガ																	○	○
37	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	シジュウカラ	○	○	○	○		○			○	○	○	○	○	○			○	○
39	ツバメ		○					○	○	○	○					○		○	○
40	ヒヨドリ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
41	ウグイス					○	○			○	○			○	○				
42	メジロ		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		
43	オオヨシキリ															○			
44	ムクドリ	○		○		○		○	○	○	○	○				○	○	○	○
45	コムクドリ																○		
46	シロハラ					○	○			○	○			○	○				
47	アカハラ					○				○				○					
48	ツグミ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
49	ジョウビタキ					○				○				○	○				
50	イソヒヨドリ			○	○		○			○	○			○					
51	キビタキ			○						○									
52	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○
53	キセキレイ											○							
54	ハクセキレイ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
55	セグロセキレイ											○							
56	カワラヒワ	○	○			○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	ホオジロ					○				○		○					○		
58	アオジ					○	○	○	○	○	○			○	○	○	○		
59	オオジュリン											○							
60	ドバト	○	○		○	○				○	○								
合計	60 種	14 種	18 種	16 種	19 種	29 種	25 種	23 種	29 種	41 種	40 種	24 種	20 種	30 種	27 種	24 種	25 種	15 種	17 種
		19 種		22 種		34 種		29 種		47 種		29 種		34 種		29 種		17 種	

表 7 船上センサス結果（第 1～2 回）

No.	種名	調査時期			
		夏季			
		第 1 回		第 2 回	
		北側	南側	北側	南側
1	カルガモ	1	3	0	4
2	カワウ	160	76	78	134
3	アオサギ	19	15	9	8
4	コサギ	0	0	9	0
5	イソシギ	1	0	0	0
6	ウミネコ	3	0	0	0
7	コアジサシ	2	0	0	0
8	ハシブトガラス	2	2	0	2
9	シジュウカラ	1	0	2	1
10	ヒヨドリ	0	1	0	0
11	スズメ	5	1	1	0
合計個体数		194	98	99	149
合計種数		9 種	6 種	5 種	5 種
合計島別種数		10 種		7 種	

表 8 ラインセンサス結果（第 1～2 回）

No.	種名	調査時期							
		夏季							
		第 1 回				第 2 回			
		L1		L2		L1		L2	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カルガモ	2	1%	2	6%	0	0%	0	0%
2	カワウ	113	82%	25	76%	27	68%	16	64%
3	アオサギ	5	4%	0	0%	0	0%	0	0%
4	トビ	0	0%	0	0%	0	0%	1	4%
5	ハシブトガラス	2	1%	0	0%	0	0%	1	4%
6	シジュウカラ	0	0%	1	3%	0	0%	1	4%
7	ツバメ	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%
8	ムクドリ	0	0%	0	0%	0	0%	3	12%
9	スズメ	16	12%	5	15%	5	13%	3	12%
10	カワラヒワ	0	0%	0	0%	7	18%	0	0%
合計		138	100%	33	100%	40	100%	25	100%
		5 種		4 種		4 種		6 種	

表 9 定点観察調査結果（第 1～2 回）

No.	種名	調査時期															
		夏季(7月)															
		第 1 回								第 2 回							
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度		
1	カルガモ	1	3%	2	5%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%
3	カワウ	26	68%	25	64%	40	71%	71	80%	3	16%	3	43%	7	41%	25	69%
4	アオサギ	1	3%	0	0%	1	2%	3	3%	1	5%	1	14%	0	0%	2	6%
5	ダイサギ	0	0%	1	3%	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6	コサギ	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
7	コチドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%
8	イソシギ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%
9	ウミネコ	0	0%	1	3%	1	2%	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
10	オオセグロカモメ	0	0%	0	0%	2	4%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11	コアジサシ	2	5%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
12	オナガ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	29%	2	12%	0	0%
13	ハシブトガラス	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	6%	0	0%
14	シジュウカラ	0	0%	1	3%	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15	ツバメ	0	0%	0	0%	3	5%	3	3%	0	0%	0	0%	0	0%	2	6%
16	メジロ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17	スズメ	6	16%	6	15%	8	14%	3	3%	4	21%	1	14%	4	24%	5	14%
18	ハクセキレイ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%	1	5%	0	0%	0	0%	0	0%
19	カワラヒワ	2	5%	1	3%	0	0%	0	0%	8	42%	0	0%	2	12%	0	0%
合計		38	100%	39	100%	56	100%	89	100%	19	100%	7	100%	17	100%	36	100%
		6種		8種		7種		11種		7種		4種		6種		6種	



写真 2 (1) 鳥の島で確認した主な鳥類

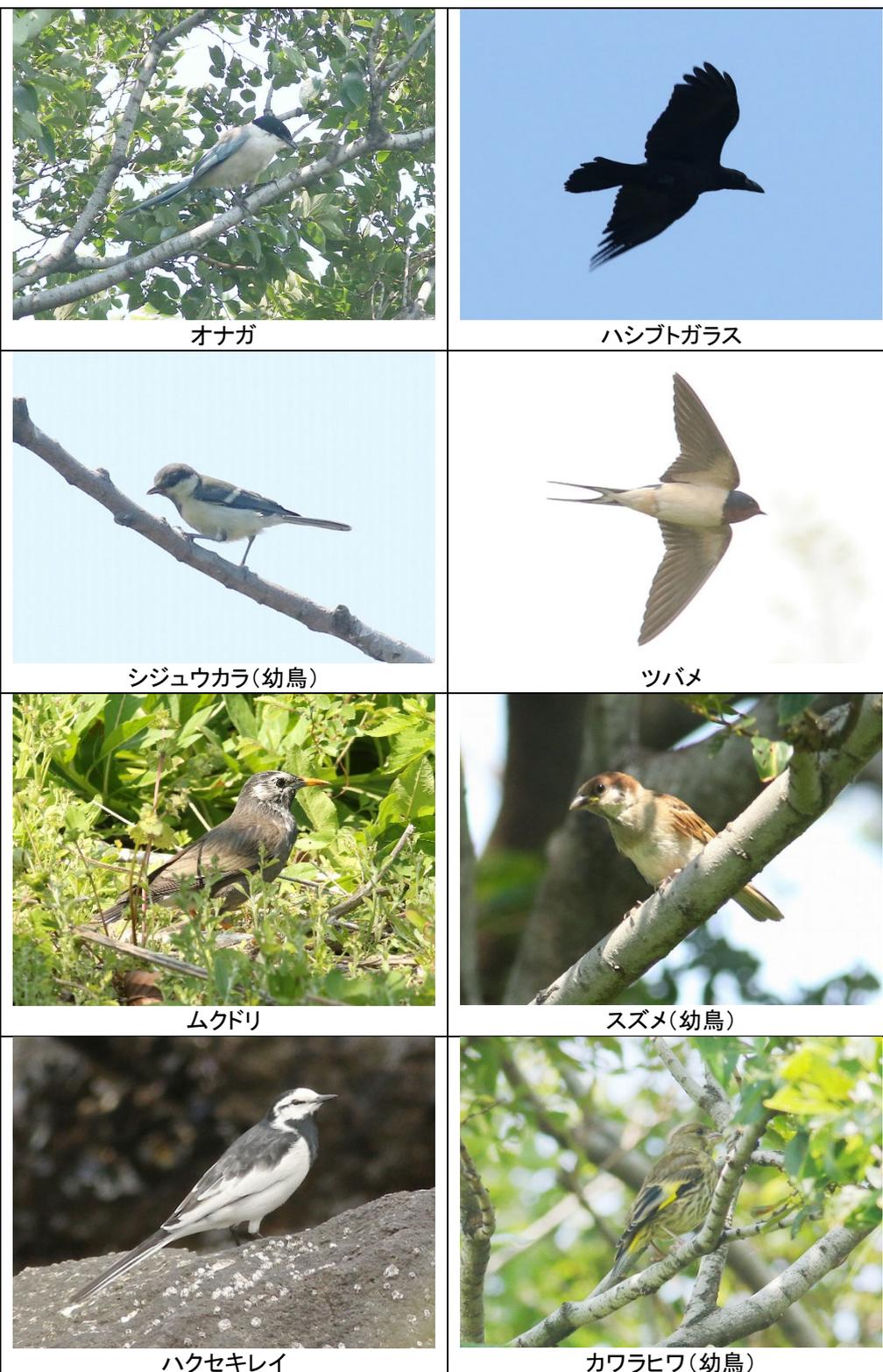


写真 2 (2) 鳥の島で確認した主な鳥類